

平成30年度 基礎技術研修 工事工程プロセス 報告

■研修名 : 平成30年度 基礎技術研修 (工事工程プロセス)

■実施日 : 平成30年11月20日 (火) 13:30~17:00

■研修導入の背景

①週休二日制導入にあたって、発注者の工期設定に関する考え方に多くの不満がある。

②現場の状況に適応した官積算の重要性と共に、工事着手後の工事実施プロセスを発注者が十分理解できていないのではないかと。

■目的 : 工事契約後、受注者が行う工事着手から完了までの工事工程プロセスについて重要なポイントを習得する。

■受講者等 : 事務所工務課、管理課の積算担当実務者19名 (係長5名 係員14名)
(聴講者21名)

■研修中の意見

- ・ 受注者は担い手、若手の増加を強く意識して、週休二日に取り組んでいるが、受注者の実行予算に対して、官積算の割り増しが小さいことがわかった。
- ・ 橋梁補修工事などの、管理系工事での週休二日の取り組み事例が知りたい。
- ・ 受発注者間のコミュニケーションが大切と感じた。
- ・ 工期はなるべく3月末にしないようにしたい。
- ・ 発注者の立場でしか仕事をしていなかったため、受注者側の考えを深く聞けて良かった。

■アンケート結果：総数19名（男16名 女3名）

□ 研修に参加して

- ①週休二日制について受注者側の本音が聞けて良かった
- ②**特記仕様書など明文化**を考えるべきと感じた

□ 講師に実務経験者を採用したことについて

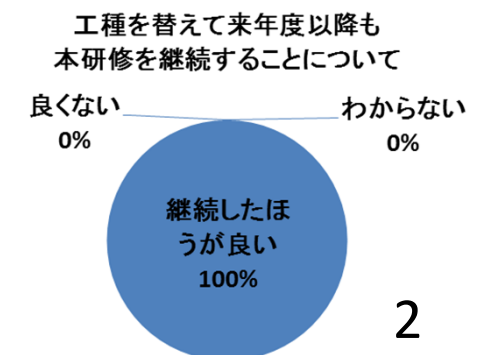
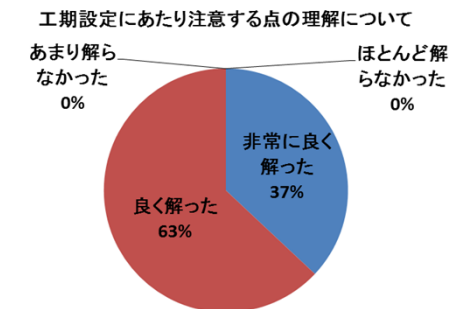
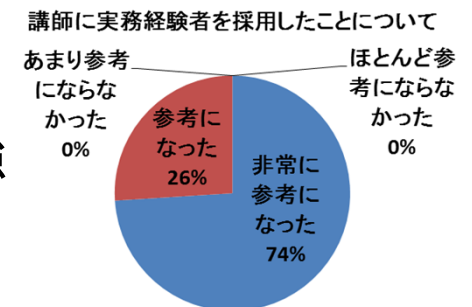
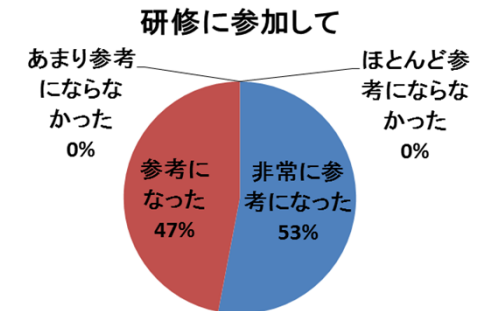
- ①実行予算の考え方など、受注者側の考え方に触れられて勉強になった
- ②実際に受注者に講師をしていただいたことで、より興味深く聞くことができた

□ 工期設定にあたり注意する点の理解について

- ①4週8休を実施するためには、**現在の官工程算出方法では非常に厳しい。**
- ②予算制度上、フレキシブルな工期設定はできないのではないか

□ 工種を替えて来年度以降も本研修を継続することについて

- ①**管理系のテーマも実施して欲しい**
- ②**改良工事、橋梁下部工事も考え方を聞きたい**



研修状況



開会(四国技術事務所長)



講義(実工事の概要をモデルを使って説明)



グループ意見交換(橋建協からの専門家も
加わって議論を深める)



全体討議(各班の意見と講師の対話を行う)